

北上川下流流域下水道施設、北上川下流東部流域下水道施設及び迫川流域下水道施設に係る
指定管理者の指定について

1 施設概要

施設名 北上川下流流域下水道、北上川下流東部流域下水道及び迫川流域下水道
所在地 石巻市蛇田字新メ切5-2、石巻市魚町一丁目1-1及び
登米市石越町東郷字六反新田14-2

2 募集期間

令和5年7月12日から令和5年8月25日まで

3 応募団体（1団体）

株式会社アイ・ケー・エス

4 審査日程

第一次審査（書類審査） 令和5年8月28日から令和5年10月16日まで
第二次審査（ヒアリング） 令和5年10月16日

5 審査方法

令和5年10月16日に宮城県企業局指定管理者選定委員会を開催し、公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例第3条に規定する選定基準により、下記の項目について審査を行い候補者を選定した。

審査項目	審査の視点	配点
申請者の経歴及び能力	イ 申請者の経歴、業務実績、経営基盤の安定性 (地方公共団体から指定管理者として指定された実績、標準活性汚泥法での処理実績の規模、純酸素活性汚泥法での処理実績など)	40点
	ロ 業務責任者及び業務主任者となる予定者の資格、経歴、業務実績 (標準活性汚泥法(純酸素活性汚泥法)での処理場における経験)	5点
	ハ 業務を行うに当たっての組織体制 (人員数・維持管理体制の明確さ、非常時等の具体的な配備体制、人員確保の状況(確保策)や従事職員の育成計画など)	30点
	ニ 業務を行うに当たって、独自の発想に基づく提案 (情報の公開、独自の発想に基づく提案やアピールなど)	5点
計画内容の実現性	イ 募集要項に示した業務の計画への反映 ロ 計画内容についての手法等の的確性 ハ 計画内容についての具体性及びその実現性 (施設の管理運営方針、管理運営計画、安全対策、個人情報の保護、環境配慮の推進など)	65点
	ニ 計画内容についての独自性 (安定した管理運営を実現や施設の機能を発揮し、管理水準等を向上させるサービス向上への取組)	10点
	ホ 経費の節減方法における工夫と実効性 (効率的かつ効果的な管理運営を行い、管理経費の節減に向けたサービス向上への取組)	5点
支出計画	イ 管理に要する経費	30点
	ロ 経費算出の合理性	10点
合計		200点

6 選定委員の氏名等

	氏 名	所属・職
委員 長	大 村 達 夫	東北大学名誉教授 未来科学技術共同研究センター シニアリサーチフェロー
副委員長	佐々木 郁 子	東北学院大学国際学部 教授
委 員	井 上 剛	日本下水道事業団 東北総合事務所長
委 員	梶 原 和 彦	石巻市建設部下水道管理課長
委 員	大 沼 伸	宮城県企業局水道経営課長

7 採点一覧表

団体名	審査項目	委員A	委員B	委員C	委員D	委員E	合 計	摘 要
株 式 会 社 アイ・ケー ・エス	申請者の経歴 及び能力	78	78	77	70	78	381	指定管理者 候補者
	計画内容の実 現性	73	76	74	57	77	357	
	支出計画	21	25	23	21	25	115	
	合 計	172	179	174	148	180	853	

8 指定管理者候補者の指定管理予定価格（収支計画）

収入総額 8, 082, 466, 975円（うち県指定管理料 8, 082, 466, 975円）
支出総額 8, 082, 466, 975円

9 指定管理者候補者

団体名 株式会社アイ・ケー・エス
代表者 代表取締役社長 森田 和
所在地 石巻市鑄銭場5番21号

10 指定期間

令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

11 選定理由

申請者の経歴及び能力については、これまでの指定管理者としての実績等により十分な能力があると認められた。

計画内容の実現性については、提出された事業計画等から当該施設の安定した運転管理ができるとともに、現指定管理者としての経験を生かした異常時・緊急時の対応、処理場設備の維持管理（保守点検・修繕）が認められた。また、下水道施設の理解や県民交流を図る事業計画においても、具体性や実現性が評価された。

以上のことから、当該施設を適切に管理運営できる団体であると認められたため、指定管理者候補者に選定した。

12 指定管理者候補者の指定の手続

宮城県企業局指定管理者選定委員会の審査結果を踏まえ、上記9の指定管理者候補者を、令和5年11月県議会の議決を経た上で、令和5年12月19日に指定管理者に指定された。